



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3537 URL <http://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,388	△8.8	129	3.8	224	2.8	150	△28.2
2020年3月期第3四半期	13,579	△12.8	124	△47.7	218	△34.0	208	△5.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △245百万円(-%) 2020年3月期第3四半期 389百万円(173.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	43.19	—
2020年3月期第3四半期	58.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,321	7,827	51.1
2020年3月期	14,999	8,135	54.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,827百万円 2020年3月期 8,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,141	△9.0	113	△11.8	253	△3.3	176	△31.1	50.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	3,579,105株	2020年3月期	3,579,105株
2021年3月期3Q	108,129株	2020年3月期	100,929株
2021年3月期3Q	3,473,136株	2020年3月期3Q	3,570,766株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外の新型コロナウイルス感染症拡大が長期化する中、政府による経済対策もあり、国内の経済活動は回復の兆しが見られたものの、全世界的に感染症の猛威が続いており、景気の回復は厳しい状況にあります。また、景気の先行きについても感染症が再拡大するなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界におきましても影響を受け、生産・販売活動とも低調な推移となりました。

こうした中、当社グループにおいても在宅勤務やオンライン商談等を活用し、化学品事業におけるオレオケミカルを中心とした既存得意先への拡販・拡充、新興国化学品の販売拡大、除菌・衛生関連の原材料及び商品販売強化に取り組んでまいりました。また、大きく落ち込んでいた自動車関連や繊維油剤関連の受注にも回復の兆しが見え、これまで低水準で推移していた一部原材料価格（天然油脂相場価格）も上昇に転じてきました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は12,388,029千円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益は129,369千円（前年同四半期比3.8%増）、経常利益は224,614千円（前年同四半期比2.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期において特別利益に投資有価証券売却益78,469千円の計上もあり、150,022千円（前年同四半期比28.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用121,109千円（前年同四半期比2.7%減）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内主要得意先の生産・販売活動が低調に推移し受注が低迷しました。ただ、自動車関連や繊維油剤関連の受注に回復の兆しも見えており、販売価格に影響を及ぼす一部原材料価格（天然油脂相場）も上昇基調となってきました。

この結果、化学品事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は10,940,435千円（前年同四半期比10.9%減）、セグメント利益は145,885千円（前年同四半期比25.1%減）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、個人消費の行動に大きな変化が生じ、巣ごもりや在宅時間が増えたことで、生協ルートや量販店ルートを中心に、当事業が取扱う掃除用品、生活日用品（洗濯槽クリーナーや冷蔵庫脱臭剤等）の需要が好調に推移し、大きく伸長しました。

この結果、日用品事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は719,834千円（前年同四半期比26.0%増）、セグメント利益は120,275千円（前年同四半期比68.8%増）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であったものの、当事業の取扱商品とのかかわりの深い地盤改良工事、コンクリート補修補強工事は依然少なく、工事に使用される材料・添加剤等の販売が低調となりました。一方、環境関連薬剤の販売は回復基調となり、堅調に推移しました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は727,759千円（前年同四半期比1.0%減）、セグメント損失は15,682千円（前年同四半期は16,907千円のセグメント損失）となりました。

[2021年3月期 第3四半期 セグメント別連結業績]

(単位：千円，%)

セグメント区分	セグメント別売上高		セグメント損益（営業損益）	
	実績	百分比	実績	利益率
化学品事業	10,940,435	88.3	145,885	1.3
日用品事業	719,834	5.8	120,275	16.7
土木建設資材事業	727,759	5.9	△15,682	—
全社費用	—	—	△121,109	—
セグメント合計	12,388,029	100.0	129,369	1.0

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は15,321,677千円(前連結会計年度末比321,766千円の増加)となりました。主な要因は、保有有価証券の時価変動等により投資有価証券が506,510千円減少した一方で、現金及び預金が791,276千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は7,494,275千円(前連結会計年度末比629,802千円の増加)となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が300,000千円、繰延税金負債が145,619千円それぞれ減少した一方で、支払手形及び買掛金が852,512千円、短期借入金が235,182千円それぞれ増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,827,401千円(前連結会計年度末比308,035千円の減少)となりました。主な要因は、利益剰余金が87,414千円増加した一方で、保有有価証券の時価変動等によりその他有価証券評価差額金が360,365千円減少したことによるものです。

資本の財源及び資金の流動性に係る情報は、次のとおりであります。

(主要な資金需要及び財源)

当社グループの主要な資金需要は、商品、販売費及び一般管理費、並びにシステム投資等の投資であります。

また今後、当社グループの収益の源泉として、事業間及び国内外間のシナジーを追及し売上高の増加を目指してまいります。

(資金の流動性)

突発的な資金需要に対して、迅速かつ確実に資金を調達できるよう、20億円の当座借越枠を取得しており、流動性リスクに備えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想につきましては、2020年11月6日の「2021年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	986,615	1,777,892
受取手形及び売掛金	5,573,662	5,736,601
商品	422,902	421,295
その他	149,930	69,880
貸倒引当金	△193	△202
流動資産合計	7,132,918	8,005,467
固定資産		
有形固定資産	207,368	195,760
無形固定資産	16,979	11,236
投資その他の資産		
投資有価証券	7,067,627	6,561,116
敷金及び保証金	332,352	335,446
その他	248,320	218,304
貸倒引当金	△5,654	△5,654
投資その他の資産合計	7,642,645	7,109,212
固定資産合計	7,866,992	7,316,209
資産合計	14,999,910	15,321,677

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,842,500	4,695,012
短期借入金	413,302	648,484
1年内返済予定の長期借入金	300,000	—
未払法人税等	40,160	11,959
賞与引当金	68,188	33,386
その他	71,705	116,169
流動負債合計	4,735,857	5,505,012
固定負債		
退職給付に係る負債	51,912	58,102
長期未払金	161,104	161,104
繰延税金負債	1,884,408	1,738,788
その他	31,190	31,267
固定負債合計	2,128,615	1,989,263
負債合計	6,864,473	7,494,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	173,568	173,568
利益剰余金	3,265,465	3,352,880
自己株式	△114,909	△114,909
株主資本合計	3,572,292	3,659,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,432,390	4,072,024
為替換算調整勘定	130,754	95,669
その他の包括利益累計額合計	4,563,144	4,167,694
純資産合計	8,135,437	7,827,401
負債純資産合計	14,999,910	15,321,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	13,579,571	12,388,029
売上原価	12,425,949	11,283,932
売上総利益	1,153,622	1,104,097
販売費及び一般管理費	1,028,967	974,727
営業利益	124,655	129,369
営業外収益		
受取利息	5,471	5,141
受取配当金	79,607	77,320
為替差益	—	1,977
不動産賃貸料	17,583	17,583
その他	4,773	3,259
営業外収益合計	107,435	105,281
営業外費用		
支払利息	5,041	2,988
為替差損	667	—
不動産賃貸原価	6,208	6,364
その他	1,751	683
営業外費用合計	13,669	10,036
経常利益	218,420	224,614
特別利益		
投資有価証券売却益	78,469	—
特別利益合計	78,469	—
税金等調整前四半期純利益	296,890	224,614
法人税、住民税及び事業税	77,391	61,468
法人税等調整額	10,506	13,123
法人税等合計	87,898	74,592
四半期純利益	208,992	150,022
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,992	150,022

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	208,992	150,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171,239	△360,365
為替換算調整勘定	9,113	△35,085
その他の包括利益合計	180,352	△395,450
四半期包括利益	389,344	△245,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,344	△245,428

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資 材事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,272,859	571,383	735,329	13,579,571	—	13,579,571
セグメント間の内部売上高又は振 替高	4,078	—	—	4,078	△4,078	—
計	12,276,937	571,383	735,329	13,583,650	△4,078	13,579,571
セグメント利益又は損失(△)	194,845	71,243	△16,907	249,180	△124,525	124,655

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△124,525千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△124,525千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資 材事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,940,435	719,834	727,759	12,388,029	—	12,388,029
セグメント間の内部売上高又は振 替高	4,525	—	—	4,525	△4,525	—
計	10,944,961	719,834	727,759	12,392,555	△4,525	12,388,029
セグメント利益又は損失(△)	145,885	120,275	△15,682	250,478	△121,109	129,369

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△121,109千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△121,109千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。